

I - B - 7

心臓神経症に対する漢方薬（炙甘草湯）の治療効果について

中国中医研究院西苑医院 心血管科 徐秀華、苗陽、徐銘溪、周国棟、錢紅守、陳可達
汪曉芳、徐風琴
中国中医研究院広安門医院 ○賈金銘

[目的] 心臓神経症に対して、ツムラ炙甘草湯と西洋薬塩酸プロプラノロール（ β -遮断剤）と自覚症状の改善に対して比較検討を行った。

[対象と方法] 外来の心臓神経症患者40名をツムラ炙甘草湯投与群20例及び塩酸プロプラノロール投与群20例について28日間経口投与を行った。

[結果] 動悸、心悸亢進、圧迫感、疲れ易さに対して、双方の薬剤共著効であった。又、炙甘草湯はその他心臓位の痛み、四肢冷寒、眩暈、緊張、抑うつ症に有効であった。焦燥、睡眠障害、肩頸の筋肉関節痛に対して両薬共無効であった。総合的有効率は双方の薬剤に於いて大差がない。炙甘草湯は投薬後TC及びTGが低くなったが、塩酸プロプラノロールは逆に上昇した。血小板については双方共に上昇したが塩酸プロプラノロールの方が上昇率が大きい。

[結論] 炙甘草湯と塩酸プロプラノロールは双方とも心臓神経症に対して有効であるが、炙甘草湯は副作用もなく安全であるが、塩酸プロプラノロールは患者により禁忌があるので患者を選択せねばならない。